

学校教育目標『高くかかげよ』～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～

日比中だより

第11号



TEL (0848) 22-6513 FAX (0848) 22-2002

URL <http://www.onomichi.ed.jp/hibizaki-j/> 令和5年1月13日(金)

メールアドレス hibizaki-j@onomichi.ed.jp 尾道市立日比崎中学校

新年あけましておめでとうございます

地域・保護者の皆様には本校教育にご支援、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。本年も引き続きご理解ご支援を賜りますとともに、皆様にとって新しい年が幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

昨年の12月13日(火)に「日比中サバイバルプロジェクト」(防災についての体験活動)が行われました。2年生は、今月17日(火)から19日(木)の3日間、四国方面への修学旅行を計画しています。昨年の12月15日(木)に生徒会役員選挙が行われ、生徒会は3学期からは2年生にバトンタッチとなります。3年生は、いよいよ入試本番を迎えていきます。日頃から体調管理を万全にし、目指す進路実現を目指して、臨んで欲しいと思います。新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が続いており、まだまだ予断を許さない状況がみられますが、引き続き基本的な感染予防対策の徹底に努めていきたいと考えています。これまでのように広島県内の感染状況によっては、再び行事等の急な変更もあるかもしれませんが、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

日比中サバプロ(防災体験活動)がありました

12月に入り、赤船祭のときの3つの色(赤団・白団・青団)の3年生サバプロリーダーが事前にミーティングを13回も重ね、本番に向けて事前学習をしたり、各活動内容を1、2年生と確認したり、その会の反省に基づいて当日の流れなどを確認したりして、リハーサルを経て12月13日(火)当日を迎えました。サバイバルプロジェクトのゴールとしてはコミュニケーション能力、主体性、各団のテーマの達成を目指します。各団のテーマは、赤団は「心技体～心を鍛え、技術を磨き、体に染み込ませる～」白団は「命を守るために学ぶ」青団は「自分の身を守る術を身につける」で、各団の具体的な活動内容は、赤団は「垂直式避難袋を用いたリアル脱出ゲーム」白団は「クイズ競争や借り物競争等の防災運動会」青団は「防火訓練・避難訓練」でした。

赤団：リアル脱出ゲーム・垂直式救助袋の訓練の様子



白団：防災運動会(クイズ競争・借り物競争)の様子



青団：消火訓練・煙が充満した部屋からの避難の様子



写真等、個人情報の掲載をしておりますので、取扱いには注意してください。

～1年生の振り返りより～

○1・2年生の交流で協力しながらやって、協力する力や災害が起こった時の対策やけがをした時の処置の仕方を学ぶことができました。また、2年生や3年生の先輩たちの姿を見て、2年生になった時にどんなことをすればいいのかわかりやすい機会になりました。

○けがをした人の治療の仕方や先輩との接し方などを学びました。日用品でのけがの手当ての仕方、サランラップを包帯代わりにすることが出来ることにびっくりしました。また、新聞紙を使ってのスリッパの作り方を学びました。私がスリッパをうまく作れない時、先輩が丁寧に教えてくれて、最後まで完成させることができました。助け合って大切なんだな、と思いました。

○次にサバプロをする時は、救助や逃げる時の危険な行動、地震で火災や津波が起こる理由などもしっかり学びたいと今回のサバプロで思いました。今回は学校内での学習だったけれど、次は家や公園、避難場所で災害が起きた時の対処を学びたい。

○初めはサバプロがどんなものかわからなかったけれど、楽しかったです。先輩方や初めて話をする人と一緒に活動できるのが不安だったけど、思ったより先輩方が優しくったり、面白かったりして、良かったです。本番の日までにいろいろな計画を立てたり、調べ学習をしたりしたので本番をきっちり迎えられたと思います。

～2年生の振り返りより～

○3年生は9月から準備をしてくれていて、サバプロの取組をととても良いものにしていて凄かったし、サバプロの進め方も格好良かったです。自分たちが3年生になったら、1、2年生を引っ張って行けるように頑張りたいと思いました。今年取組の中で、煙体験が思ったよりもリアルで楽しかったです。バケツリレーは、初めの内は受け取って、次の人にただ渡す

みたいな感じだったけれど、消防士さんからコツを教えてもらったので、火災が起こった時に生かしたいと思いました。

○サバプロでは、自分が知らないことが多いことに気付いて、パソコンで調べたり、クイズをしたりして、新しく知ることがいっぱいありました。使用方法も体験して自分でやってみないと分からない事や知らない事が多く、体験することは大切なあとと思いました。もし（災害が）本当に起きた時、慌てて落ち着いて出来ないと思うけど、体験して順番を頭に入れておくと、少しは落ち着いて出来そうだと思います。

○サバプロをすることで、他学年との交流を増やすことが出来たのでとても良かったと思います。調べ学習を行うことによって、災害が防災について色々な知識を得ることが出来ました。南海トラフ地震が起きた時などの災害時に活かしていきたいと思いました。垂直式救助袋では、組み立てを見ながら一緒にやることで大まかな組み立て方が分かりました。実際に降りる時（災害が起きた時）には、あせらず中の人を下りたかどうか確認することが大切だと思います。今回のサバプロがとてもいい経験になりました。

○1年生や3年生と同じ班だったり、2年生でもあまり話したことがない人と一緒の班だったり、最初は不安だったけれど、事前学習の時の交流で仲が深まり、本番は協力しながら楽しく活動することができました。その時に3年生が中心となって引っ張ってくれたので、今度は自分たちがそのような存在になりたいと思いました。来年は自分たちがサバプロを企画し、運営することになると思うので、今回の様に楽しみながら学べるようにしていきたいと思いました。3年生の姿を目に焼き付けるとともに自分達の色も出せるように工夫しながら頑張りたいです。

～3年生の振り返りは3学期の始業式で校長が式辞の中で生徒に紹介したのでそちらをご覧ください～



生徒会役員選挙がありました

12月15日（木）に生徒会役員選挙立会演説会並びに投票が行われ、新執行部の体制が決まりました。新執行部の皆さんはこれまで先輩達の姿から学んだ一生懸命な姿や歌声、伝統を引継ぎ、選挙活動での熱い思いを、今後も意識して取り組んで行きましょう。生徒の皆さんも生徒会の一員としての自覚を持って、生徒会活動を支え盛りあげ、よりよい日比崎中学校を創りあげましょう。旧執行部の皆さん一年間ありがとうございました。

始業式式辞より



1月10日【火】1校時に、始業式があり、校長がオンラインで各教室に向けて式辞を行いました。紹介します。

今日は、大きく2つ話します。

1つめは、3学期は0学期であるということです。0学期の意味は、一年間の集大成であることと来年度の準備をする学期であるということです。

3年生は、4月からの自分の進路を確実にするために、今できることをすべてやりきりましょう。試験当日、ここまでやりきったという思いが、不安をやわらげ、自分の力を発揮できることとなります。

もう一つは、3月8日の卒業証書授与式までの間、学校のリーダーとしての姿を1・2年生に見せてください。それは後ろ姿が良いのです。リーダーとして自分の進路にもくもくと取り組んでいる姿を見せてください。それが日比中の伝統だと思っています。

2年生は、4月1日に名実ともに学校のリーダーとして活躍するために、3年生の最後の姿を目に焼き付けてください。君たちも1年後には自らの進路目指して立ち向かっていきます。3年生の姿が学校リーダーとしてのゴールモデルです。

もう一つは、来週は修学旅行があります。修学旅行では学年集団として成長してほしい。日比崎中学校の学校リーダーになるという思いを行動で示しましょう。

1年生は、1・2学期に日比崎中学校の最大の教育活動であり、コアカリキュラムである赤船祭とサバプロを体験しました。名実共に日比崎中学校生徒です。締めくくりとして、日比崎中学校が目指す生徒の姿である3年生の後ろ姿を2年生同様目に焼き付けてください。

もう一つは、2学期までの成長を確かなものにするために、4月から先輩になるという意識をもって過ごしましょう。4月から後輩に日比崎中学校はどんな学校なのか、どんな伝統があるのか伝えることができる先輩であってほしい。

大きな2つ目は、3年生の皆さんが書いてくれた「サバプロ」の振り返りの中で印象に残った言葉を紹介します。終業式でもサバプロについて話しましたが、今年のサバプロはステージが一つ上がりました。とても良い取組でした。今日はそのサバプロに中心となって取り組んだ3年生の振り返りの中から来年度につながる振り返りを幾つか紹介します。

○いろいろなことをやっていく上で楽しく笑ったり、難しくてみんなで悩んだりしてたくさん交流することができたと思います

○難しい問題も意見を出し合い協力して取り組むことで解決できると思いました。

○去年よりもクロムブックが有効活用できていてわかりやすかったです。

○いやでもやってみることでいろんな結果を得られることが分かり、挑戦することを大切にしていきたいと思うようになったサバプロでした。

○リーダーであっても失敗することがあるし、どうしてもそれは連帯責任になってしまうけれど、みんなで補っていくという心の持ち方を勉強しました。

○議論の際に、もちろん賛同も必要ではありますが、ちゃんと否定できる人がいることが大事だとわかりました。「これはだめ」「こっちはだめ」とだめなことは早めに潰していくと「本当にできること」が見えてくるのではないかと思います。

○私が見た限りでは、生徒全員が学習課題を解決するという目標に向かってみんなが協力していたと思います。その姿を見て隊長としてやってきて良かったと思うし、リーダーがとてもよく頑張ってくれたと思いました。

皆さんどうですか？サバプロで目指すのは、「南海トラフ大地震で全員が生き残る」ことですが、他にも課題発見解決能力、一人一人の主体性とコミュニケーション能力を高めることを目指しています。3年生の皆さんの振り返りから、サバプロが目標達成に迫ったことが分かりました。3年生の振り返りを来年度のサバプロに活かしていきましょう。

最後になりますが、3学期は今年の集大成の姿をお互いに確認する学期でもあります。3月8日の卒業証書授与式が、感動と涙と歌声と笑顔あふれる式になるようにみんなで行きましょう。